

国家前進へ責務重大

村上誠一郎氏



自公政権復活と維新初議席

―再び自公政権が誕生するが、自民は3年余り下野した経験はどう生かすか。

村上 この数年の政治があまりにもパフォーマンス化しすぎた。マニフェストで甘いことばかりを言った。国の基本は財政・外交・国防・教育・エネルギー政策。これらについて、何が問題で、原因や対策、どう実行するかを考えるのが政治の基本。自民は腰を据えて、まともな政治をやる必要がある。

―民主党のマニフェスト違反のほか、自公政権時代からの相次ぐ首相交代などで政治の信頼が揺らいでいる。信頼回復へ何に取り組むか。

村上 3年で最も崩れたのは外交と国防。普天間基地問題で日米関係が戦後最悪になったために、中国は尖閣諸島、韓国は竹島と本来日本の領土に対する領有権の主張を強めてきた。日米関係を再構築しなければならぬ。また、先日の中央自動車道笹子トンネル天井板崩落事故のように、防災・減災を含めてやらなければならないインフラ整備がある。

政治への信頼回復

教科書に領土記述 村上氏

―悪化する日中、日韓関係の改善策は。

村上 中国のデモで邦人企業はかなり被害を受けた。損害賠償を請求していくべきだ。中国の教科書は領土についての記述が何ページもあるが、日本は数行。尖閣についても明確にメッセージを伝えていく必要がある。外交と国防は国の専権事項。都知事が尖閣を買おうとしたので関係がこじれた。

日中・日韓関係